

佐世保工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0088		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	「時代を読み解く上級日本語 (第2版)」					
担当教員	堀上 志都子					
到達目標						
1. 中級後期～上級段階の文型・語句を習得する。 2. 長文 (新聞記事等) の内容を的確に把握できるようになる。(速読を含む) 3. 長文の内容について教師の質問に答えられるようになる。 4. 長文の内容に関連して自分の考えが記述できるようになる。 5. 長文の内容を自国の状況と比較して説明できるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1(達成目標1)	本文中の文型・語句を使って、 x000D 自由に短作文できる。		本文中の文型・語句を使って、 x000D 似た文章を作るできる。		本文中の文型・語句を使って、 x000D 自由に短作文できない。	
評価項目2(達成目標2, 3)	本文の内容を的確に把握し、教師の質問にキーワードを使って答えることができる。		本文の内容を把握し、教師の質問の箇所を理解し、答えることができる。		本文の内容をが分からず、教師の質問に答えることができない。	
評価項目3(達成目標4, 5)	本文の内容を自国の状況と比較して説明でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本社会の現状について書かれた文章を題材として、日本語の語句の意味・用法を学習するとともに、読解力・発話力・作文力の向上を図る。					
授業の進め方・方法	予備知識：日本語中級前期までの文型・語句の知識_x000D_ 講義室：_x000D_ 授業形式：演習形式_x000D_ 学生が用意するもの：辞書、ノート、テキスト					
注意点	評価方法：出席・授業態度、中間・期末試験、発表・レポート等で総合的に評価し、60点以上を合格とする。_x000D_ 自己学習の指針：テキストを中心として毎回授業の予習・復習に取り組み、積極的に質問してください。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・2課_x000D_		新しい結婚の形を考える	
		2週	2 課 遠距離結婚_x000D_		〃	
		3週	3 課 未婚の男性が急増_x000D_		母国と日本の未婚男性について考える。	
		4週	〃_x000D_		〃	
		5週	7 課 ノーマライゼーションの地域を作る_x000D_		地域再生について考える	
		6週	〃_x000D_		〃	
		7週	文学作品		短編作品を一つ読み、日本理解を深める。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	9 課 野菜産地の悩み_x000D_		外国人労働者受け入れの現状について学ぶ。	
		10週	〃_x000D_		〃	
		11週	1 0 課 高齢社会は怖くない_x000D_		高齢化社会について、その問題点と解決策を考える。	
		12週	〃_x000D_		〃	
		13週	1 2 課 問われる学力観_x000D_		母国と日本の「学力観」について考える。	
		14週	総合練習		復習と作文 (長文)	
		15週	期末試験			
		16週				
後期	3rdQ	1週	1 4 課 メディア機器・I T 機器の影響_x000D_		インターネット等の子供への影響について考える。	
		2週	〃_x000D_		〃	
		3週	1 5 課 日本型雇用システム(1)_x000D_		母国と日本の「雇用契約」について考える。	
		4週	〃_x000D_		〃	
		5週	1 6 課 日本型雇用システム(2)_x000D_		母国と日本の「賃金制度」について考える。	
		6週	〃_x000D_		〃	
		7週	文学作品		短編作品を一つ読み、日本理解を深める。	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	1 9 課 新卒外国人が変える日本_x000D_		企業の外国人採用について考える。	
		10週	〃_x000D_		〃	
		11週	2 3 課 人間のおごり_x000D_		東日本大震災時から今までの科学に対する認識の変化をまとめる。	
		12週	〃_x000D_		〃	
		13週	2 4 課 エビデンスと現実の直視_x000D_		「エビデンス」の必要性について考える。	
		14週	総合練習		復習と作文 (長文)	

		15週	期末試験		
		16週			
評価割合					
	出席	中間・期末試験	小テスト等	小テスト・レポート・宿題等	合計
総合評価割合	40	100	20	40	200
中間評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	60	20	0	80
分野横断的能力	20	0	0	0	20
期末評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	40	0	40	80
分野横断的能力	20	0	0	0	20